

2022年12月7日

日本曹達株式会社
農業化学品事業部 普及部

日曹農薬 登録のお知らせ

平素より日曹農薬の普及拡販にご協力を頂き誠に有難うございます。

この度下記農薬が2022年12月7日付けで登録変更となりましたので、ご連絡申し上げます。
今後とも、ご指導・ご鞭撻頂きますようお願い致します。

(記)

「キルパー」

(農林水産省登録 第24000号)

【 変更内容の概要 】

1. 作物名「にんにく」に適用病害名「白絹病」を追加。
2. 作物名「メロン」に適用病害名「炭腐病」を追加。
3. 作物名「おけら」、「とうき」を追加。
4. 作物名「トマト」、「ミニトマト」、「いちご」、「ピーマン」、「とうがらし類」、「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「かぼちゃ」、「なす」、「ほうれんそう」、「はくさい」、「ねぎ」、「わけぎ」、「あさつき」、「チンゲンサイ」、「みずな」、「レタス」、「非結球レタス」、「だいこん」、「キャベツ」、「ブロッコリー」、「にんじん」、「たまねぎ」、「にんにく」、「さやえんどう」、「実えんどう」、「ズッキーニ」、「花き類・観葉植物」、「かんしょ」に使用目的「前作のきゅうりのつる枯病蔓延防止」を追加し、使用目的「前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止」に使用方法「所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに鎮圧又は被覆する。」を追加。
5. 「使用上の注意事項」を以下のとおり追加・変更。
 - (1) 2) 本剤を使用する場合は、土壌が乾燥しているとガスが抜けやすく、効果が出ない場合があるので注意すること。土を軽く握って放すと割れ目ができる程度の水分含量が適切である。それ以上に乾燥している場合は散水して水分含量を調整すること。
 - 5) (ホ) おけら、とうきの春植え低温期に使用する場合は、薬害を生じる場合があるのでガス抜き耕起を十分に行うこと。
 - (2) 3) (エ) かんしょの次作の基腐病発病抑制およびにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止の目的で使用する場合は、原液または水で3倍程度に希釈して土壌表面に散布し直ちにロータリー等で混和し、直ちに鎮圧または農業用被覆資材等で被覆する作業体系で実施すること。

— 次ページに続く —

【使用目的・使用方法】

(**枠線太字** が変更部分)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量 (原液として)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カーバム ナトリウム塩を 含む農薬の 総使用回数
にんにく	白絹病 、乾腐病、 イモグサレセンチュウ、 一年生雑草	60L/10a	は種又は定植の 15 日前まで	1 回	所定量の薬液を土壤 表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。	1 回
	イモグサレセンチュウ				所定量の薬液を土壤中 約 15cm の深さに注入し 直ちに被覆または 覆土・鎮圧する。	
メロン	ネコブセンチュウ、 一年生雑草	40L/10a			予め被覆した内で、 所定量の薬液を水で 希釈し土壤表面に散布 または灌水する。	
	炭腐病 黒点根腐病	80L/10a				
おけら、 とうき	一年生雑草	60L/10a	所定量の薬液を土壤 表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。			

作物名	使用目的	使用量 (原液として)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	カーバム ナトリウム塩を 含む農薬の 総使用回数
トマト、ミニトマト、 いちご、ピーマン、 とうがらし類、きゅうり、 すいか、メロン、 かぼちゃ、なす、 ほうれんそう、はくさい、 ねぎ、わけぎ、あさつき、 チンゲンサイ、みずな、 レタス、非結球レタス、 だいこん、キャベツ、 ブロッコリー、にんじん、 たまねぎ、にんにく、 さやえんどう、 実えんどう、ズッキーニ、 花き類・観葉植物、 かんしょ	前作の きゅうりの つる枯病 蔓延防止	60L/10a	前作の栽培終了 後から残渣撤去 まで但し、 は種又は定植の 15 日前まで	1 回	所定量の薬液を水で 希釈し土壤表面に 散布または灌水する。	1 回
	前作の にんにくの イモグサレ センチュウ 蔓延防止				所定量の薬液を 土壤表面に散布し、 直ちに混和し 被覆する。	
					所定量の薬液を土壤 表面に散布し、直ちに 鎮圧又は被覆する。	

以上

札幌営業所 (北海道)	TEL:011-241-5581
仙台営業所 (東北)	TEL:022-227-1741
関東営業所 (関東、甲信越、富山、石川)	TEL:048-677-6010
大阪支店 (東海、近畿、中国、四国、福井)	TEL:06-6229-7343
福岡営業所 (九州、沖縄)	TEL:092-771-1336